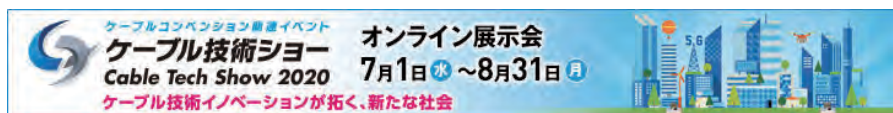


FDI (フル デジタル イノベーション) 誌上展示会 2020 (July)

ケーブルコンベンション 2020 / ケーブル技術ショー 2020 ～ 実開催からオンライン開催へ ～



一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟（理事長：吉崎正弘、所在地：東京都中央区）、一般社団法人日本CATV技術協会（理事長：内田茂之、所在地：東京都新宿区）及び一般社団法人衛星放送協会（会長：小野直路、所在地：東京都港区）の3団体は、2020年6月10日（水）から11日（木）まで東京国際フォーラムで予定していた、「ケーブルコンベンション 2020 / ケーブル技術ショー 2020」の会場での開催を取りやめることを決定した。

ケーブルコンベンション / ケーブル技術ショーはケーブルテレビ業界の総合コンベンションとして、2012年から業界3団体の主催により開催されている国内最大の業界イベントであり、出展社・来場者の皆様にビジネス創造、交流の場を提供していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、政府から「緊急事態宣言」が発出され、東京都からイベントの中止または、施設使用の制限、停止の要請がなされている現状、及び今後の先行きが見通せない中、来場者様、出展社様ならびに、ご協力いただいている関係者の皆様の健康と安全を優先することが最も重要であると考え、会場を使った開催は避けるべきとの結論に至った。

開催概要

名称：ケーブルコンベンション 2020 関連イベント「ケーブル技術ショー 2020 オンライン展示会」
開催テーマ：ケーブル技術イノベーションが拓く、新たな社会 ～地域を創る、ひとりひとりの豊かな社会を目指して～
会期：2020年7月1日（水）～8月31日（月）
会場：ケーブル技術ショー 2020 公式ウェブサイト
主催：（一社）日本CATV技術協会 / （一社）日本ケーブルテレビ連盟 / （一社）衛星放送協会
後援：総務省（予定）
特別協賛：（一社）日本ケーブルラボ / ケー

ブルテレビ無線利活用促進協議会 / （一社）日本コミュニティ放送協会（以上予定・順不同）
協賛：情報通信月間推進協議会（予定）
特別協力：日本放送協会 / （一社）日本民間放送連盟 / （一社）放送サービス高度化推進協会（以上予定・順不同）
協力：日本テレビ放送網（株） / （株）TBSテレビ / （株）フジテレビジョン / （株）テレビ朝日 / （株）テレビ東京 / 毎日新聞社 / 読売新聞社 / 日本経済新聞社 / 産業経済新聞社 / 東京新聞 / 共同通信社 / 時事通信社 / （一社）日本経済団体連合会 / （一社）電子情報技術産業協会 / （一社）電波産業会 / （一社）電気通信事業者協会 / （一社）テレコムサービス協会 / （一社）日本インターネットプロバイダー協会 / （一社）コンピュータエンターテインメント協会 / （一財）全国地域情報化推進協会 / （一財）電波技術協会（以上予定・順不同）

※後援・特別協賛・特別協力・協力は2019年の実績をもとに予定として記載しています。

入場料：無料（入場登録制）

出展者一覧

プラットフォーム・総合：NEC ネットエスアイ、関電工、ジャパンケーブルキャスト、シンクレイヤ、住友電気工業、パナソニック システムソリューションズ ジャパン、ファーウェイ・ジャパン（華為技術日本）、富士通ネットワークソリューションズ、古河電気工業、ミナリ通信
ヘッドエンド系・受信端末・伝送系：アイ・オー・データ機器、APRESIA Systems、伊藤忠ケーブルシステム、SCSK、三信電気、サン電子、GS ユアサ、ダイコー通産、大電、DTS インサイト、ティービーエスネクスト、THK、DX アンテナ、東京電機産業、トラフィック・シム、バッファロー、朋栄、マスプロ電工、三菱電機、MEDIAEDGE、メディアリンクス、横河計測、RIEDEL Communications Japan

ソフト・制作系・CPS/IoT・部品等：

伊藤忠ケーブルシステム / アイテック阪急阪神、オムニディジコム、クロスイメージング / 気象サービス、さくら映機、サテライトコミュニケーションズネットワーク、データブロード、東亜ソフトウェア、東京シー・エム・シー、東洋紡エンジニアリング、日興通信 ニューメディア、ネットセーブ / EXFO JAPAN、ビーテック、マウスコンピュータ、武蔵エスアイ

オンライン テックセミナー

ケーブル技術ショーでは主催者および出展者がユーザーに向けたオンライン テックセミナー（技術セミナー）を公開、ケーブル技術業界の動向や各企業の最新技術・ソリューションを紹介します。

- 会場：ケーブル技術ショー 2020 オンライン展示会内「オンライン テックセミナー」
- 開催期間：2020年7月1日（水）～8月31日（月）
- 受講料：無料（登録制）

主催者セミナー

ケーブルテレビ業界における無線活用

地域ワイヤレスジャパン 代表取締役社長 / 住友商事 理事 メディア事業本部副本部長 ケーブルテレビ事業部長 小竹 完治 氏

Wireless 社会に向けた最新ソリューション

伊藤忠ケーブルシステム ネットワークソリューション本部 CATV・ネットワークシステム部 ネットワーク営業グループ 田部 井 和道 氏

この度のセミナーでは「Wireless 社会に向けた最新ソリューション」と題して、弊社の Wireless 製品を中心にご紹介致します。現在、Wireless として「5G」や「WiFi6」などがキーワードになり、IoT など新しいサービスも出てきました。1つの転換期である今、弊社としてご提供できる端末をご紹介致します。また FTTH インフラの整備も必須であり、「NOKIA 10G-PON」の紹介もいたします。

「新しい生活様式」における地域ネットワークを支える ローカル 5G×ネットワークスライシング

～NEC ネットエスアイの目指す
スマートシティのコンセプト～
デジタルタウン推進本部

担当部長 有川 洋平 氏

「新しい生活様式」における 地域ネットワークの重要性

デジタルタウン推進本部 担当 野島 舞 氏

地域ネットワークを支える先端技術

デジタルタウン推進本部 担当課長 竹澤 寛 氏

本セミナーでは、「新しい生活様式」における地域ネットワークを支える地域 BWA とローカル 5G、サービス毎の柔軟な通信制御を実現するネットワークスライシングについて紹介します。

コロナ禍においてネットワークが社会・経済活動を維持するライフラインとなり、必要なサービス・場所・ニーズに最適なネットワークの整備が重要になります。NEC ネットエスアイはコンサルティングから、設計・構築・運用・保守までワンストップで提供します。

「これから始める SaaS」

クラウドを使った放送監視同録

トラフィック・シム クラウド事業開発部
部長 山田 幸太郎 氏

放送監視・同録システムのパイオニアとして、オンプレで提供してきた数々のサービスをクラウドで行った場合、どんなメリットがあるのか、潜んでいるデメリットをどう解消するのか。また、トラフィック・シムの SaaS (Software as a Service) を利用したいがどうしたらいいの？放送監視・同録システムをクラウド で使う事は大丈夫なの？ SaaS ってよく聞けどどういうサービスなの？と言った、使用するに当たって出てくる皆様の疑問を解決、実際の導入事例などを紹介させていただきます。

主催者テーマ展示概要

主催者テーマ展示：IPDC フォーラム、IPTV フォーラム、NHK 放送技術研究所、日本ケーブルラボ、放送サービス高度化推進協会 (A-PAB)

ケーブル技術ショー 2020 オンライン展示会「主催者テーマ展示」では、最先端ケーブル技術で地域や社会の課題解決に取り組み、次世代のケーブルイノベーションに貢

献する技術を紹介しています。

IoT 放送 & LPWA (P2P 型) の連携による パーソナル避難誘導システム

協力：IPDC フォーラム

IPDC フォーラムは、同時大多数に対する一斉同報性に優れる放送波の優位性を生かした「IoT 放送」の具現化を推進しています。今年も、昨年に引き続き、防災減災分野における IoT 放送の有効性の可視化を狙いとして、V-high 帯における特定実験試験局の免許を取得し、緊急時のパーソナル避難誘導のプロトタイプを開発し、実際のフィールドでの実証実験を進めており、その概要をご紹介します。地域における P2P 型の LPWA との連携で、既設の通信に依存せずにスマホからの上りを実現し、IoT 放送からのコマンドを受けたスマホが、通信の輻輳が懸念される緊急時においても、状況に応じた適切な避難誘導を実現する仕組みをご覧ください。

スマートホンからテレビでの

配信動画視聴への誘導

協力：IPTV フォーラム

放送と通信とを連携させる仕組みにハイブリッドキャストがあります。

ハイブリッドキャストは 2013 年からサービスを開始しており、対応するテレビの出荷台数は累計 1,100 万台となっています。ハイブリッドキャストは対応テレビにインターネット経由で静止画や動画コンテンツの取得を指示するのですが、その指示を送るのにデータ放送の機能を使うので、地方局ではなかなか運用ができませんでした。一昨年に IPTV フォーラムから仕様が公開された「ハイコネ」(ハイブリッドキャスト・コネクトの略)は、その指示をスマートホンから送る仕組みとなっているので、地方局でも運用でき、スマートホン中心のライフスタイルになってしまった視聴者にとっても、スマートホンとテレビが「仲良し」な世界を作ることができます。今回のデモでは、SNS などからスマートホンに送られたメッセージをタップするだけでテレビが作動し、「Paravi」の動画を視聴できる様子をご覧ください。

ハイコネの技術紹介と活用事例

協力：NHK 放送技術研究所

日々の生活行動と放送サービスをより簡単に結びつけるために、視聴者が日常利用しているスマホや IoT 機器を起点としてテレビ上のハイブリッドキャストアプリケーションと連携するハイブリッドキャストコネクト (ハイコネ) の開発を進めてきまし

た。ハイコネの機能により、新しいユーザー体験を提供するサービスの実現に向けた取り組みが可能となります。

NHK 技研では、ハイコネを実現する端末連携プロトコルの開発に取り組み、(一社) IPTV フォーラムの標準技術規格および Jlabs の運用仕様策定に貢献しました。こちらでは、ハイコネの技術、活用事例、そして開発支援ツールについて紹介いたします。

高度次世代ケーブル技術

協力：日本ケーブルラボ

サービス、端末、配信、インフラに関する 5 つの次世代ケーブル技術の展示を行います。次代の映像サービスとして期待される仮想現実感について、従来の 360 度映像の各視点に適合したサウンド VR 技術、マイナンバー・ケーブル ID 基盤と連携して OTT はもとより生活情報、E- コマースなど様々なケーブル通信サービスを提供できるスマートケーブルアシスタント、STB のローコスト化を目的に必要最低限の機能実装によるラボ標準の第 3 世代 STB、ケーブル回線の利用効率を 2 倍以上に高められる次世代映像配信のための放送通信自動切替技術、ケーブル最新技術である分散化・仮想化によるヘッドエンド設備のエコ化をケーブル事業者の各事業環境に即して簡単にコスト計算できる第 2 世代インフラコスト分析シミュレータについて、動態デモを含めて紹介します。

別世界！ 新 4K8K 衛星放送 ～電波漏洩対策とマンションへの 4K8K 導入事例～

協力：放送サービス高度化推進協会 (A-PAB)

新 4K8K 衛星放送は 2018 年 12 月 1 日から本放送を開始して 1 年半が経過し、新 4K8K 衛星放送を視聴可能な受信機器台数は 4 月末で 400 万台を突破しました。

当ブースでは、

- 新 4K8K 衛星放送の基礎知識 (番組情報や受信方法等)
- 安定受信に必要な「電波漏洩対策」とは？ (SH・HS マーク機器、助成金制度等)
- マンションへの新 4K8K 衛星放送導入事例、視聴方法 (ケーブルテレビ、全面改修、周波数変換方式等)などを幅広く、わかりやすくご紹介します。



www.catv-f.com

朋 栄

ケーブル技術ショー 2020 オンライン展示会 出展概要

AI や LTE 回線を活用して、制作効率化、低予算化に対応する「スマートライブ制作」を提案

株式会社朋栄（代表取締役社長：清原克明、本社：東京都渋谷区）は、2020 年 7 月 1 日（水）～8 月 31 日（月）まで、オンライン展示会として開催されるケーブル技術ショー 2020（www.catv-f.com、主催：一般社団法人 日本 CATV 技術協会 / 一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 / 一般社団法人 衛星放送協会）に出展する。新型コロナウイルスの感染拡大防止に十分に配慮した制作スタイルが求められるニューノーマル時代。従来、中継車を活用し、マルチカメラで中継してきた各種イベントも、より少人数の現場スタッフでの中継スタイルが求められています。効率化および低予算化が求められる番組中継現場のニーズに対し、朋栄は「スマートライブ制作ソリューション」を提案する。マルチカメラシステムと AI 技術を使用した自動スポーツ映像システム Pixellot S1 の出力を、EnGo 260 で複数の LTE/5G 回線を経由して会場から放送局へ高画質伝送。この映像に対し、ハイライト映像制作や SNS 動画共有を行う Envivo Replay、キャラクタージェネレーター CG-Portable、MBP-200TB2 を紹介。さらに、会場取材映像を追加したい場合や、番組映像を会場に戻して音声指示を出したい場合など、制作内容に応じてソリューションを強化できることを示す。

主な出展製品

■ AI 技術を活用したスポーツ中継

自動スポーツ映像システム Pixellot S1 [イスラエル Pixellot 社製] 4K マルチカメラシステムを使用して競技場全体のパノラマ映像を生成。AI 技術を活用し、パノラマ映像からゲーム進行に応じて選手の動きを認識して、ズームングや切り出し位置を自動的に変更。

スムーズなカメラワーク付きの映像を生成する。サッカー、バスケットボール、ラグビー、ホッケーなど、各種スポーツのルールに応じた AI アルゴリズムを用意。オプション追加で、スイッチング映像の SDI 出力に対応。

■ LTE/5G 回線を使用した簡易伝送

Dejero EnGo 260/WayPoint [カナダ Dejero 社製] モバイルトランスミッター EnGo 260 を使用して、LTE/5G 携帯回線を 6 回線ブレンディングして帯域を拡張。中継現場から放送局内のレシーバー WayPoint へ H.265/HEVC コーデックで高品質な HD 映像を伝送。

WayPoint は、4 台の EnGo の映像をデコードして SDI 出力。SMPTE ST 2110 出力に対応するモデルも設定。

IFB 端子を活用することにより、WayPoint から EnGo 260 へ音声指示を出すことが可能。

WayPoint に USB オーディオインターフェース、EnGo 260 に USB ヘッドセットを接続し、双方向通話できるインカム機能も活用可能。

■ 素早いハイライト編集と SNS 動画共有

インスタントリプレイシステム Envivo Replay [米国 Variant Systems Group 社製] 入力映像プレビューをしながら、直感的なタッチパネルによりリプレイ映像作成やハイライト編集が可能。収録映像を直接 YouTube や Facebook に配信する SNS 動画共有にも対応。

■ 手軽に経過時間やアニメーションロゴを追加

小型キャラクタージェネレーター CG-Portable 英国 InSync 社と共同開発したキャラクタージェネレーターで、GUI はバーチャルセットシステムで定評のあるスペインの Brainstorm 社が開発。

スポーツシーンに必要な経過時間や、「Live」表示、スポンサーロゴなどを手軽に追加可能。時刻表示は、現在時刻 / 経過時間 / 残時間の表示が可能。多国籍言語が混在したテロップ表示や縦書き表示にも対応。

■ リアルタイムに CG/ テロップを追加

CG 合成装置 MBP-200TB2 合成用ワークステーションや CG 専用機を追加するこ



Dejero EnGo 260/WayPoint [カナダ Dejero 社製]



小型キャラクタージェネレーター CG-Portable 英国 InSync 社と共同開発

となく、接続した PC のソフトウェアに応じて手書きグラフィックス制作やテロップ制作、動画出力などに対応。

【製品に関するお問い合わせ】

株式会社朋栄 国内営業本部 TEL : 03-3446-3121 FAX : 03-3446-4451
e-mail : l ad@for-a.co.jp



www.catv-f.com

オタリテック

<LAWO vsmSNAP スタンドアロン・クロスポイント・スイッチングパネル>

vsmSNAP は、ビデオスイッチャやルーター等のクロスポイントを制御することができるプッシュボタン式パネル。

vsmSNAP は、他のVSM システム使用時に必要なVSM サーバーを使用せずにサードパーティ製の機器を直接コントロールすることが可能。

VSM サーバーに接続すると、各vsmSNAP パネルは通常のVSM パネルとして機能する。

vsmSNAP パネルは、17、34 及び51 プッシュボタンタイプのラックマウント型と32 プッシュボタンデスクトップ型がある。

vsmSNAP パネルは、ビデオスイッチャやルーターを制御するプロトコルでネイティ

ブに通信し、VSM サーバーを使用せずにシンプルなビデオスイッチャ/ルーター制御を実現する。

vsmSNAP パネルは、Windows ベースのソフトウェアで簡単に構成することができる。

同一ネットワーク上にある複数の vsmSnap パネルで同じサードパーティデバイスに接続することができる。

vsmSNAP は次の制御用のプロトコルをネイティブにサポートする

- ・Leitch
- ・Pro-Bel SW-P-08
- ・nVision

<KeyPoints>

vsmSNAP キー機能

- ❖ 1 つのハードウェアパネルでビデオスイッチャやルーターを制御するシンプルなクロスポイントコントロール
- ❖ VSM サーバーは不要
- ❖ VSM サーバーにリンクすると、通常の VSM パネルとしても動作可能
- ❖ 複数のパネルを同じサードパーティデバイスに接続可能
- ❖ vsmSnap パネルは4 つのサイズをサポート
- ❖ Leitch、Pro-Bel SW-P-08、nVision プロトコル

<ハードウェア>

vsmLBP 32-DT-SNAP

32 LCD ボタンRGB バックライト、デスクトップ型



vsmLBP51-SNAP

51 LCD ボタンRGB バックライト、2RU



vsmLBP34-SNAP

34 LCD ボタンRGB バックライト、2RU



vsmLBP 17-SNAP

17 LCD ボタンRGB バックライト、1RU



キヤノン・キヤノンマーケティングジャパン

キヤノンは、映像制作機器 CINEMA EOS SYSTEM の新製品として、新開発の「DGO センサー」採用により広いダイナミックレンジを実現するとともに、4K/120P のハイフレームレート記録に対応したデジタルシネマカメラ「EOS C300 Mark III」を 2020 年 6 月下旬に発売すると発表した。

新製品は、映像制作や放送用コンテンツ制作など、さまざまな撮影現場で好評を得ている「EOS C300 Mark II」（2015 年 9 月発売）の後継機種。従来機種から基本性能を刷新するとともに、上位機種「EOS C500 Mark II」（2019 年 12 月発売）と同じく、ユーザーが撮影現場に応じて自由にカスタマイズできるモジュールデザインを採用し、幅広い映像コンテンツの制作に対応している。

また、EF シネマレンズの新製品として、CINE-SERVO レンズ「CN10 × 25 IAS S/E1（EF マウント）」と「CN10 × 25 IAS S/P1（PL マウント）」を、2020 年 7 月上旬に発売。8K カメラに対応する光学性能と高倍率の 10 倍ズームを実現し、1.5 倍のエクステンダーをレンズ本体に内蔵した「CINE-SERVO レンズ」シリーズの EF シネマレンズ。8K カメラに対応する高い光学性能を生かして、4K カメラでも高品位な 4K 映像の撮影

ができる。肩担ぎが可能な軽量設計に加え、放送用レンズ同様の操作性を実現する着脱可能なドライブユニットを標準装備しており、放送コンテンツ制作用途から、映像制作用途まで幅広いニーズに対応している。

さらに、業務用 4K ディスプレイ 2 製品（DP-V1710/DP-V1711）を対象に、高輝度化を実現するファームウェアの有償アップグレード対応を 2020 年 6 月下旬に開始するほか、業務用 4K ディスプレイ 7 製品（DP-V1710/DP-V1711/DP-V2410/DP-V2420/DP-V2421/DP-V2411/DP-V3120）を対象に、各種機能・性能の向上を図るファームウェアを 2020 年 6 月下旬より無償提供する。

キヤノンの業務用 4K ディスプレイは、映像制作現場のニーズに対応するファームウェアの提供により、これまでも定期的に機能を拡充している。2018 年 6 月から提供している HDR モニタリングアシスト機能は、業界で権威のある HPA の 2018 エンジニアリング・エクセレンス・アワードを受賞するなど、ユーザーからも定評がある。今回のファームウェア提供により、ユーザーの利便性をさらに高め、映像制作現場を強力に支援する。



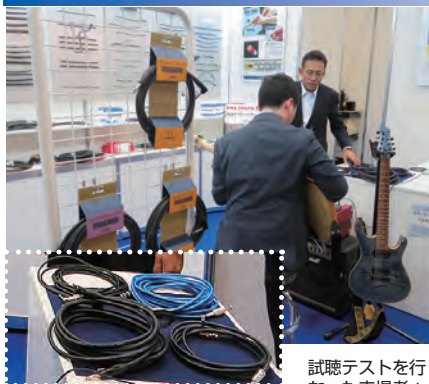
キヤノンお客様相談センター
050-555-90006

● CINEMA EOS SYSTEM
ホームページ
canon.jp/cinema-eos

● ディスプレイホームページ：
canon.jp/v-display



モガミ電線



▲試験テストを行なった来場者▲

▲試験テストに使用されたケーブル
放送局、レコーディングスタジオ、公共ホール等の業務用オーディオ・ビデオ及びコンピュータのインターフェース・ケーブル等を開発し、販売を行う同社では、定評のある柔軟かつ機械的強度に優れたケーブルや、基礎・基本的な工学

技術に於いて他社を凌駕する技術情報の蓄積を活かした付加価値の高い製品作りを行なっている。
高度な技術を活かし、イーサネットケーブル、BNC コネクタ付き同軸ケーブル、110 Ω AES/EBU デジタルオーディオ・マルチケーブル、吊りマイクケーブル、0.226mm² ステレオマイクケーブル、高解像度チューブ・マイクロホン・ケーブルなどを主力製品としている。
InterBEE2019 での同社ブースでは、ケーブルの違いによるギターの音色の違いを来場者に実感してもらうテストが行われ、注目を浴びていた。そのほか、3 極⇄5 極変換アダプター、120 Ω ターミネーター、RoHS 対応の「DMX シリーズ」アクセサリや、アメリカ BTX 社のネジ止め方式のコネクタ「ターミナルブロックコネクタ」などを紹介した。

www.mogami-wire.co.jp



mogami

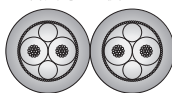
MICROPHONE CABLE
モガミ マイク・ケーブル

#24AWG STEREO MIC. CABLE

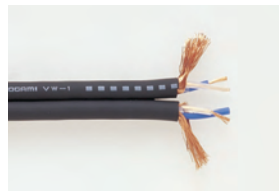
0.226mm² ステレオ マイクケーブル

ステレオ（ペア）で引き回せて、しかも分岐した後の両チャンネルのコアが通常のマルチケーブルよりも太く丈夫なものをという要望に答えて設計されたケーブルで、ドラム取り等、常にステレオで引き回す場合に便利で、混がらがりが減ります。

コア径は 4.8mm で分岐した後の XLR コネクタに接続される片チャンネル単独部分にも機械的な安心感があります。また、導体には OFC を使い、静電容量も通常のマイクケーブル並に低く抑えていますので、音質的にも優れています。



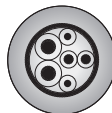
Part No.3106



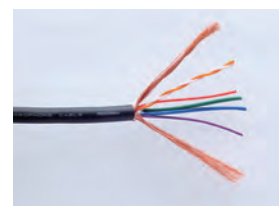
HIGHEST DEFINITION TUBE MICROPHONE CABLE

高解像度チューブ・マイクロホン・ケーブル

代表的なチューブマイクの電源回路を含めた電気回路に基づいて設計された、高音質追求型のチューブマイク専用ケーブルです。ほとんどの代表的なチューブマイクに適合します。



Part No.3172



お問い合わせ

モガミ電線株式会社

モガミ電線株式会社 PHONE: (0263) 52 0131

E-MAIL: sales@mogami-wire.co.jp URL: http://www.mogami-wire.co.jp

ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン

ソリッド・ステート・ロジック・ジャパンは、InterBEE2019では、System T S500 (x 2 台)、System T S300 を紹介。

Network I/O HC Bridge SRC、Live L550、Live L100

AWS Delta 948、XL Desk、SiX、Fusion X-Rack

System T は Native AoIP デジタルコンソールで、Dante HC を採用。7.1.4 までの Immersive Audio 制作。AES 67、SMPTE 2110 ネットワーク対応。VR 制作用のプラグインツール内蔵。ポストプロダクション用の DAW コントロール、ダイナミックオートメーション機能を搭載している。

S500 は 16 フェーダーから 288 フェーダーまでのフレーム構築が可能とし、S300 は 16 フェーダーまたは 32 フェーダーフレームとなっている。

Live L550 と L100 は PA 用デジタルコンソール。L550 は昨年 L500 からバージョンアップを行った。

アナログ機器は、アナログコンソールと



S500 は 16 フェーダーから 288 フェーダーまでのフレーム構築が可能としている。

DAW コントロールを融合した AWS Delta 948、アナログプロセッシングエンジンの Fusion、XL-Desk、デスクトップミキサー SiX を紹介。

www.solid-state-logic.co.jp



7.1.4 までの Immersive Audio 制作
AES 67、SMPTE 2110 ネットワーク対応

エーティコミュニケーションズ

エーティコミュニケーションズは衛星に関する多種多様な製品を扱っているが、衛星中継車の設計・製造も行っている。InterBEE2019 のブースでは、トヨタハイエースをベースにした SNG 車を展示していた。通常このタイプの車をベースにした場合、乗車定員は 3 名程度であるが、今回展示していた SNG 車は定員 5 名である。座席に工夫があり、運転席側の背もたれをハンドル側に倒すということでオペレーション空間を広く取れるようになっている。基本的な仕様は、衛星アンテナに“SWE-DISH DA-120”を搭載し、6KVA・



NMG 電源システムを採用している。また、ポータブル型ブロードバンド衛星端末“Satcube Ku”はノートパソコンサイズで重量は 8kg と超小型で軽量なので飛行機内に持ち込み可能で、専用バックパックでの運用もでき、ホットスワップ対応のバッテリー交換も可能である。伝送レートは

15Mbps と広帯域でモバイル中継装置との連携も可能で、衛星の補足も数分で完了する。

<http://www.bizsat.jp/>



ノートパソコンサイズの“Satcube Ku”

フォービット

《オーディオミキサー/マトリックス》

《NEW》12×10 ポータブルデジタルオーディオミキサー「PMX-1210」: アナログライクな操作性のポータブルデジタルオーディオミキサーで、EIA19 インチラックに実装可能なW420 x H160 x D460 のサイズ。デジタル(AES-3id)/アナログ信号混在の12×10 デジタルオーディオミキサー。

EIA19 インチラックに実装可能で、INPUT はデジタル/アナログ入力モノラル8 系統、アナログステレオ入力、ステレオリターン入力各 2 系統。モノラル入力/ステレオ入力は、デジタル(AES-3id) 入力と切換え使用が可能。モノラルチャンネルは、2 タイプのHPF/LPF、2 タイプのコンプレッサー、3 バンドのEQ が使用可能。

2 系統のマスター出力とバス出力は、デジタル(AES-3id) とアナログL/R にて出力。AUX 出力はアナログL/R が1 系統、モノラルが 2 系統。デジタル(AES-3id) で選択出力可能。マスター及びバス出力はラウドネス値の計測が可能。モニター出力はL/R アナログ1 系統が使用可能。

コミュニケーション入力1 系統、TB 及び PFL 信号(択一選択) の外部出力1 系統使用可能。ダイレクトアウト1 系統(アナログ8 チャンネル)。内蔵TB マイク及びモニタースピーカー搭載。同期信号は、入力AES 信号、WORD、VIDEO 信号(NTSC/PAL を自動切換え) が選択可能。本機を2 台接続し、カス

ケード接続による入力チャンネル増設可能。

32 ×20 アウトプットマトリックスユニット「MTX-2420」: SDI エンベデッド音声・デジ・アナ混在入力可能/ラウドネスメータ機能、ダウンミックス機能を搭載。

6 ×6 オーディオマトリックス

ミキサー「MTX-0606」: デジ・アナ混在入力、AC・DC 電源併用、カスケード接続可能。

《MADI, 22.2 マルチチャンネル音響 関連機器》

22.2ch 音響アップ/ダウンコンバータ「T-1508」: MADI 入力×1 系統、デジタル入力×4 系統、MADI 出力×2 系統(パラレル出力)、デジタル出力×4 系統、デジタルモニター出力×1 系統/モノ/ステレオ⇒22.2ch 音響にアップコンバート/22.2ch 音響⇒5.1ch ⇒ステレオにダウンコンバート 22.2ch 音響ラウドネスメータユニット



22.2ch 音響アップ/ダウンコンバータ「T-1508」

「LM-22」: 22.2ch +5.1ch +2ch を3 系統同時ラウドネス計測。

MADI ディレイユニット「MD-64」: 最大6 秒×64ch

MADI ディストリビューションアンプユニット「MDA-8」

30 ポイント MADI 32ch バーグラフメータユニット「MB-532」: MADI 信号(AES-10)の音声レベルを表示する30 ドット32 チャンネルのバーグラフメータ。「SELECT」スイッチにより、MADI 信号の「1 ~32ch」/



「33 ~64 ch」の表示を切換えることが可能。

《3G/HD/SD-SDI エンベデッドオーディオモニター》

MADI オーディオモニター「MS-564」: MADI 信号を直接入力してオーディオモニター可能。22.2 から5.1 およびステレオへのダウンミックス機能(専用デジタル出力装備)。上記ダウンミックスのモニターも可能。ダウンミックスの係数設定を、5.1 およびステレオともに3 パターンプリセット可能。入力素材やダウンミックスを自由に割り当て可能なMADI 出力(電源OFF 時は入力スルー)。

3G/HD/SD エンベデッドオーディオモニター「MS-822V」: VU メータ搭載。エンベデッド音声、デジタル音声、アナログ音声に対応。

3G/HD/SD エンベデッドオーディオモニター「MS-832」: AC 電源または DC+12V 電源から選択。可搬型コンパクトステレオモニタースピーカ W158 × H86 × D130mm



<http://www.fourbit.co.jp>



ますます多機化するフィールドで応える
柔軟さと確実性

FB
FourBit

株式会社
フォービット

〒358-0014
埼玉県入間市宮寺 2720
TEL : 042-934-7720
FAX : 042-934-5664
TEL : 042-935-0551 (営業部直通)
URL : <http://www.fourbit.co.jp>



HF-02

3G/HD/SD-SDI+ デジタルオーディオフェーダーボックス
税抜価格 ¥490,000

エンベデッドオーディオならびにデジタルオーディオ
のフェーダーコントロールによる直感的なレベル調整



- 接点タリ入力によるフェーダーミュート動作
- エンベデッドオーディオのリマッピング機能
- フェーダーの動作モード(フェーダー/カフ)切換
- 5.1 ダウンミックスとステレオミックス機能
- 各チャンネルごとに PFL モニター可能
- モニタースピーカー内蔵
- ヘッドフォン出力装備

アイ・ディー・エクス

株式会社アイ・ディー・エクスは、長年にわたり、放送・映像業界において、リチウムイオンバッテリーをはじめ、充電器の開発、販売をしており、現在では放送・映像業界ではリーディングカンパニーとして評価されている。

この度は、この業界で培った知識と経験を活かした新製品のポータブル電源を紹介する。撮影現場において、発動発電機を電源として使用するケースが多いと考えられるが、騒音や排ガスの問題がある。

ポータブル電源はリチウムイオンバッテリーを搭載しており、音はほとんど出ないし、排ガスも一切、排出はしない。発動発電機の使用ができない室内や夜間の住宅街などでも力を発揮する。夜間の中継、住宅街、室内等での撮影向けの電源として使用できると考えている。機器の管理面において、発動発電機の場合はガソリンなどの燃料の保管管理、エンジンのメンテナンス等、資格や知識が必要で煩雑な管理が必要となるが、ポータブル電源の場合は定期的にコンセントから充電する

のみ、発動発電機のような燃料の管理やエンジンのメンテナンスのような作業は不要。誰でも簡単に管理を行える。また、1Kwh クラス、3Kwh クラスについては、キャスターやハンドル付きで移動も容易、さらに UPS 機能を搭載しており、日常は UPS として、非常時は非常用電源としても使用できる、コストパフォーマンスの高いポータブル電源となっている。

現在のラインナップは、容量別に 300wh クラス、1Kwh クラス、2020 年 4 月以降にリリース予定の 3Kwh クラスがある。

<ポータブル電源のラインナップ>

コンパクトな卓上型ポータブル電源で 300Wh クラスの "IPS-300AU"

出力: AC100V × 1 (正弦波)、USB (DC5V) × 3 口、TYPE-C (PD 対応) × 1 口、シガーライター (DC12V) × 1

特徴: 小型卓上型ポータブル電源ながら、AC 出力と DC 出力両方に対応。

キャスター付きで移動も容易な 1Kwh クラスの "IPS-1000A"



出力: AC100V (正弦波) × 2

特徴: 強力インバータで 1Kw (ピーク 2Kw) の出力

キャスター付き、ソーラー充電対応 1Kwh クラスの "IPS-1000AS"

出力: AC100V (正弦波) × 2

特徴: 強力インバータ出力とソーラー充電対応。

2020 年 4 月以降にリリース予定の 3Kwh クラスの "IPS-3000A"

出力: AC100V (15A) × 3 口、AC100V (30A) × 1 口 (すべて正弦波)

特徴: 3Kw 出力 (ピーク 6Kw) の強力インバータ搭載。

<https://www.idx.tv/jp/>



ネットワークエレクトロニクス

同社では、Digital Nirvana(デジタル ニルヴァーナ) 社「Minitor IQ」(モニター IQ) を国内初公表。Monitor IQ は、Volicon Observer (ポリコン オブザーバー) に代わるデジタル ニルヴァーナ社法定同録装置である。Debian Linux ベースの web サーバアプライアンス製品である SDI ベースバンド及び TS、IP など多くの入力方式に対応した長時間録画と軽快なファイルハンドリング機能を持つマルチチャンネルモニタリング機能を実装。同録、モニター、レポート、ファイル変換・転送が可能。データ解析、ソーシャルメディア向けやOTT、ストリーミングサービスとの連携が可能となっている。



また Nevion 製品では、Live IP メディアコントロール & オーケストレーション、多機能メディアプロセッサ・ゲートウェイ、IP/ベースバンド・ハイブリッド・システムインテグレーション「VideolPath/Virtuoso」を紹介 (写真上)。

BRIDGE TECHNOLOGIES 製品では、IP ×



ディアモニタリング監視、集信/ 配信メディア監視、非圧縮ベースバンド、TS 圧縮ビデオオーディオメディア「Stream Labs」を紹介。そのほか、CHYRONHEGO センサーレスリアルタイムバーチャルグラフィック合成システム「VIRTUAL PLACEMENT」などの展示も行なった。

▶ <https://network-electronics.co.jp/>



digital nirvana™

Monitor IQ

「法定同録だけじゃない」

放送事業者は、幅広い規制およびコンプライアンス要件を満たすために、放送コンテンツに関する知識を収集して使用する必要があります。Digital Nirvana の MonitorIQ は、放送事業者にコンテンツの記録、保存、監視、分析、再利用を可能にする安全で使いやすいソリューションを提供いたします。

Volicon Observer ブロードキャストモニタリングおよびコンプライアンスログ製品の販売終了の発表により、Digital Nirvana は Volicon の顧客が次世代のブロードキャストモニタリングおよびコンプライアンスログプラットフォームにスムーズに移行できるよう支援いたします。

製造元:
digital nirvana digital-nirvana.com

輸入販売元:
ネットワークエレクトロニクスジャパン 株式会社